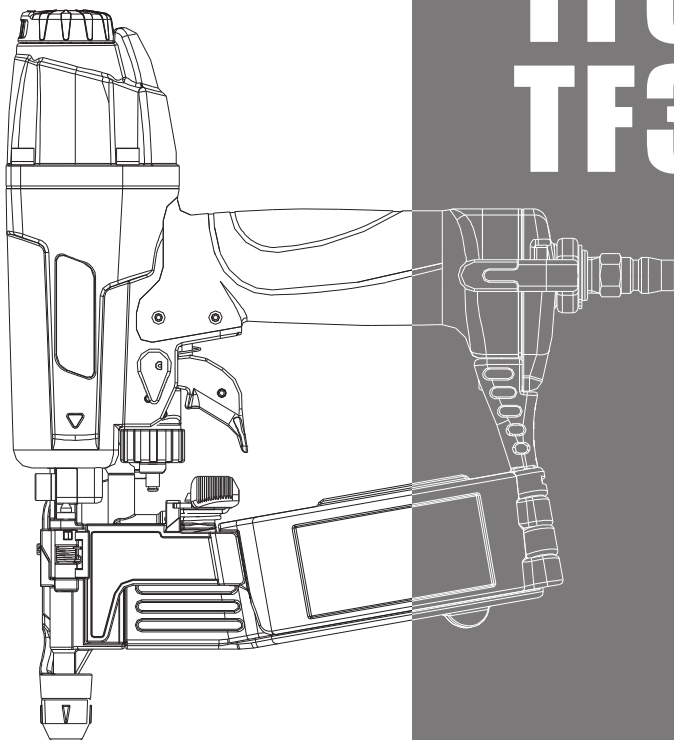




取扱説明書

ポケット釘打機

TF38P2 TF32P



この度は、当社のポケット釘打機をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書を最後までよくお読みください。

本機のご使用にあたっては使用上の注意事項、本機の性能、使用方法等について十分にご理解の上、安全に効率よくお使いくださるようお願い致します。

トータル・ファスニング株式会社

◇表示の意味について

使用上の注意事項は「警告」「注意」の区分があり、それぞれ次の意味を表します。



警告

誤った取扱いをすると、死亡や重症を負う等
重大な事故につながる可能性が想定される事項です。



注意

誤った取扱いをすると、傷害を負う可能性
および物的損害が想定される事項です。

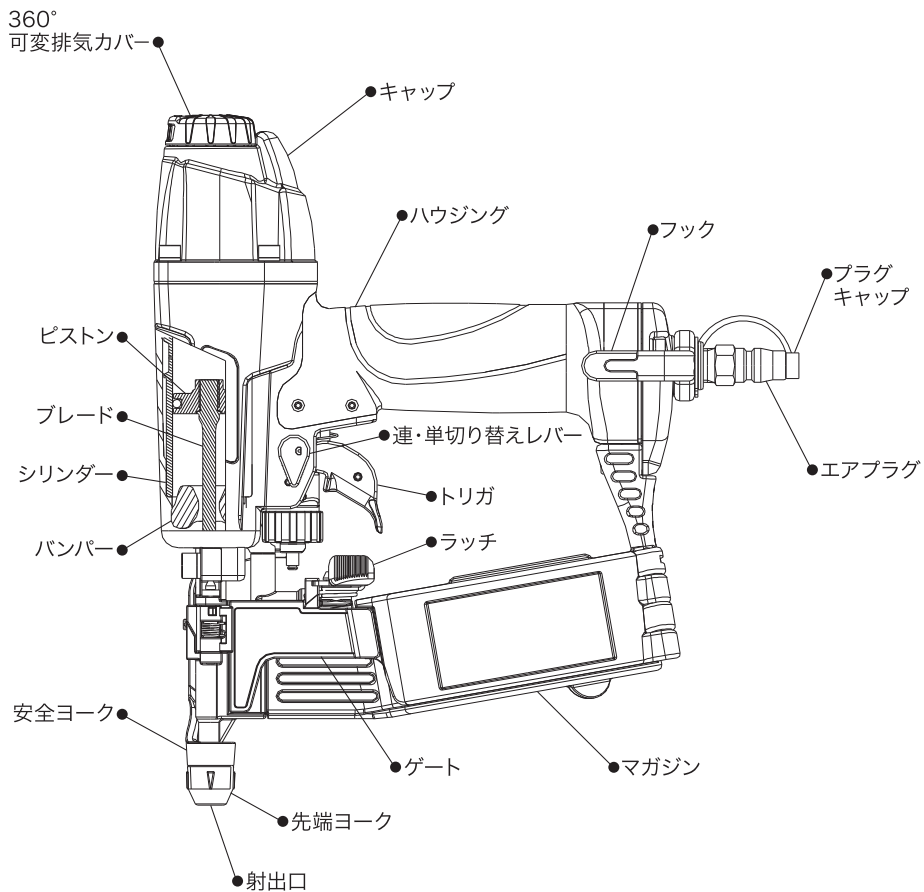
※この取扱説明書は常時内容が確認できるよう保管してください。

※本機の仕様は性能向上の為、予告なしに変更することがあります。

目 次

部品の名称	2
仕様	3
使用釘の種類	3
用途	4
標準付属品	4
ポケット釘打機を安全に使用する為に	5
作業前の準備	10
使用方法	11
使用後の保守・点検	14

部品の名称



仕 様

	TF38P2	TF32P
寸 法 (長さ)	215mm	215mm
(幅)	52mm	52mm
(高さ)	285mm	240mm
重 さ	1.3kg	1.2kg
使用釘長さ	ポケット釘19mm~38mm	ポケット釘19mm~32mm
使用釘頭径	4.0mm~5.0mm	
装填本数	150本・190本	
使用空気圧	0.44~0.78MPa (4.5~8.0kgf/cm ²)	
使用オイル	タービン油 ISO VG32~68	
エアホース内径	6.5mm以上 (長さ30m以内)	

使用釘の種類



警 告

ポケット釘打機の故障や事故を避けるため、必ず弊社純正の釘をお使いください。

上記の仕様に記載されているサイズ（長さ・頭径）の弊社製ポケット釘が使用できます。ポケット釘は本機をお買い上げの販売店で求めください。

用 途

石膏ボード・化粧ボード・ベニヤ板等の下地施工及び軒天打ち施工。
トタン板・金属サイディング等の取り付け施工。家具木工の製造等。

標準付属品

①取扱説明書

②先端ヨーク …………… 1個

③安全メガネ（保護メガネ） …………… 1個

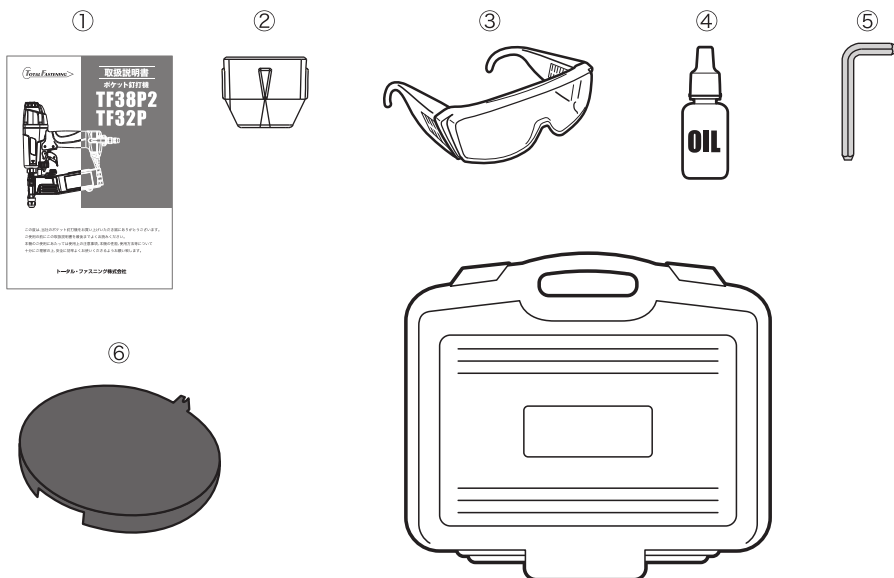
④油サシ（タービン油入り） …………… 1本

⑤六角棒レンチ 3 …………… 1本

4 …………… 1本

5 …………… 1本

⑥マガジンスペーサー



ポケット釘打機を安全に使用する為に

警告



①作業関係者以外近づけない。

作業する場合には、作業者以外の人を近づけないでください。

②作業環境に応じた防具を着用する。

作業環境に応じて、ヘルメット、安全靴等の防具を着用してください。

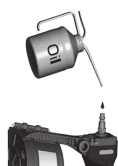
③正しい服装で安定した姿勢で作業する。

作業に適した服装で作業してください。また無理な姿勢での作業は危険です。常に足場をかため、身体の安全を保って作業してください。



④作業に入る前に必ず始業点検を行う。

各部のナット、スクリューボルト、ストップリング等の締め金具が緩んでいないか、その他部品が外れたり、傷んでいないかを点検してください。どの部品もそれぞれ大切な役目を果たしております。外れたり、傷んでいると故障や事故の原因となりますので、十分注意して点検してください。



⑤給油を行う。

作業の前後にポケット釘打機のエアプラグ内に、付属のタービン油を2～3滴（0.1cc）給油してください。



⑥空気圧の点検を行う。

指定の圧力より低いとポケット釘打機の機能を果たしません。また指定の圧力を越えるとポケット釘打機の寿命を縮めたり、故障や事故の原因となります。

警告



⑦安全ヨークが正常に作動するか点検し、作動しない場合は絶対に使用しない。

まずエアホースを接続しない状態で安全ヨークを動かし、スムーズに動くか確認してください。

次にエアホースを接続し、下記の現象が発生した場合は使用しないでください。

- トリガを引いただけで作動する。
- トリガを引いていない状態で安全ヨークを押し付けただけで作動する。

⑧必ず当社指定の釘を使用する。

指定以外の釘を使用すると故障や事故の原因となります。

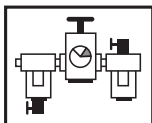
必ず指定の釘を使用してください。

また保管状態の悪い釘は使用しないでください。

⑨エア漏れや異常音が無いかを確認する。

エアホースを接続したら、エア漏れが無いか確認してください。

次に釘を試し打ちし、釘が曲がったり、異常音が発生していないかを確認してください。エア漏れのある場合、その他異常がある場合は絶対に使用しないでください。



⑩動力源は必ず圧縮空気を使用する。

動力源は必ず圧縮空気を使用してください。

酸素ボンベや高圧ガス（アセチレン、プロパン等）は絶対使用しないでください。使用するとポケット釘打機が爆発する等、重大な事故の恐れがあります。



⑪作業中は常に安全メガネを着用する。

打ち損じた釘が跳ね返り、目に入ると失明の恐れがありますので、作業者本人だけでなく周囲の人も必ず安全メガネを着用してください。

警告



⑫防音保護具を着用する。

排気音や排気エアから耳を守る為、作業環境に応じて防音保護具（耳栓等）を着用してください。



⑬危険物の近くでは作業をしない。

打ち込み時に火花が飛散することがありますので、シンナー、ガソリン、塗料、ガス類等の引火や爆発の恐れのある物質の近くでは絶対に使用しないでください。



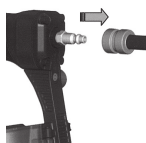
⑭射出口には絶対に手を近づけない。また、材料を手で支える場合は十分注意する。

やむを得ず材料を手で支える際は、射出口付近から離れた、十分安全な場所を支えてください。



⑮エアホースを接続する際は下記を厳守する。

- トリガに触れない。
- 安全ヨーク及び射出口に触れない。
- 安全ヨーク及び射出口を人体や物に押し付けない。
- 射出口を人体に向けない。



⑯移動する際は必ずエアホースを外す。

エアホースを接続した状態で本機を持ち歩いたり、手渡したりすると誤って発射することがあり、思いがけない事故につながりますので、移動する際はエアホースを外してください。

⑰ポケット釘打機を使用しない時は必ずエアホースを外す。

⑱作業中断時は必ずエアホースを外す。

作業中の釘装填、調整や釘つまりの除去を行う際は、釘の誤射による事故の恐れがありますので、必ずエアホースを外してください。

警告



⑱射出口を向け合っての作業はしない。

相手の姿が見える場合はもちろん、見えない場合でも両側から向かい合っての同時打ちは大変危険です。



⑳機体の反動に注意する。

作業中はポケット釘打機の上方に顔等を近づけないようにしてください。堅い木や節等を打つと機体が強く反動しますので注意してください。



㉑安全ヨークは絶対に改造しない。

㉒ポケット釘打機の改造は厳禁。

㉓作業をする際は次のことを注意する。

- 作業場所は常に整理整頓してください。
- 足場を使って作業をする際は、足場の安全性を十分確認してください。
- 作業場所の照明は十分に明るくしてください。
- エアホースは作業場所の近くに固定してください。エアホースが引っ掛かったり、引っ張られたりすると反動で身体の安定を欠くことになり危険です。
- 屋根等の傾斜面で釘を打つ際は、下から上へ向かって前進しながら作業してください。後退しながら作業をすると、足を踏み外す等、事故の恐れがあります。

㉔直射日光を避ける。

ポケット釘打機、エアコンプレッサ、エアホース等を長時間直射日光のあたる場所に放置しないでください。

警告

㊟水が掛かったまま放置しない。

雨等で水分が掛かったまま放置しておくとう錆の発生の原因となり、安全装置が正しく動作しなくなる恐れがあり大変危険です。水が掛った場合は水分をよくふき取り、油等を塗って錆の発生を防止してください。

㊟使用後の注意事項。

使用後はエアホースを外し、釘を抜き取り、エアプラグ内に付属のタービン油を2～3滴(0.1cc)給油してください。常温の乾燥した場所に保管してください。

作業前の準備

警告

○エアホースの準備

内径6.5mm以上、長さ30m以内の常圧エアホースを使用してください。

○エアコンプレッサ内のドレンの除去

内部に水や油が溜まると錆の発生等、故障の原因となります。ご使用前の前後にエアコンプレッサの空気タンクのドレン抜きを緩め、内部に溜まった水や油を除去し、乾燥した清浄な圧縮空気を使用してください。

○給油

付属の油サシにてエアプラグ内にタービン油を2～3滴（0.1cc）給油してください。
給油を怠るとポケット釘打機の寿命を縮めたり、故障や事故の原因となりますので必ず行ってください。

○空気圧の調整

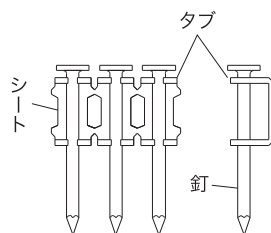
使用時の空気圧は釘の長さや対象物の木質等によって異なります。このポケット釘打機の使用圧力範囲は手元レギュレータゲージ圧で0.44～0.78MPa（4.5～8.0kgf/cm²）です。
対象物の木質等に合わせ、この範囲内で調整してください。

○釘の点検

釘を装填する前に釘の頭部および足元がシートのタブから外れていないか点検してください。釘がシートのタブから外れていると、釘の送り不良や釘の飛出しの恐れがあります。

万一、釘が外れている際は右図のように釘をシートに嵌め込んでからご使用ください。手作業で簡単に嵌め込むことができます。

また、保管状態の悪い釘は使用しないでください。



使用方法

ご使用前に本機とエアコンプレッサを接続しないで使い方を覚えてください。

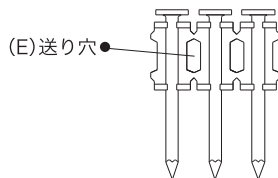
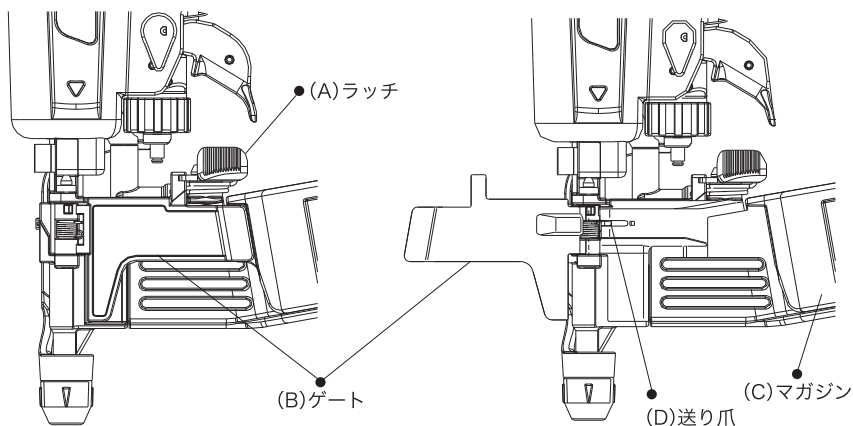
釘の装填



警告

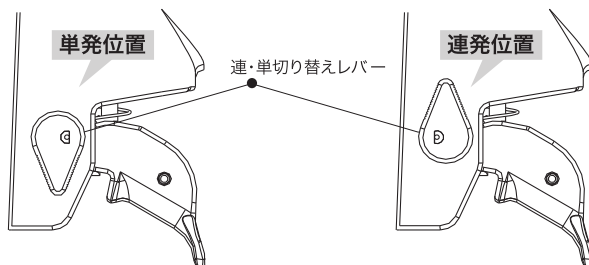
釘を装填する際はエアホースを必ず外してください。

- ① (A) ラッチを押すと (B) ゲートが左に開きます。次に (C) マガジンを右に開きます。
- ② 連結釘の巻き止めテープを完全に剥がし、マガジン内に装填します。
- ③ 連結シート先端背面の最初の (E) 送り穴を (D) 送り爪に噛み合わせます。
- ④ (E) 送り穴が (D) 送り爪に確実に噛み合っていることを確認してから、
(C) マガジン → (B) ゲートの順に閉じてください。



発射方法

本機は、連・単切換えレバーにより連発式・単発式の2通りの打ち方ができます。
連・単の切換えは連・単切換えレバーを180°回転させることにより行います。



単発式

単発式はまず部材に安全ヨークを押し付けてからトリガを引く方法で、正確性・安全性を要する作業に適しています。

- ①釘を打つ部材に安全ヨークが一番奥に突き当たるまで本機を押し当てます。
- ②そのままトリガを引くと釘が発射されます。

【完全セーフティ機能】

本機の単発式は、完全セーフティ機能を有しております。

完全セーフティ機能により単発時の二重発射がなく、より安全に作業いただけます。

完全セーフティ機能は使用空気圧0.49MPa (5.0kgf/cm²) 以上で有効となりますので、単発式でご使用の際は使用空気圧を0.49MPa (5.0kgf/cm²) 以上に設定することをお勧め致します。

- トリガを引いたまま安全ヨークを部材に押し当てても発射しない。
- 発射後、トリガを引いたまま安全ヨークを解放しても、ブレードは初期位置に戻らない。
- 発射後、トリガを放すことではじめて初期状態に戻る。

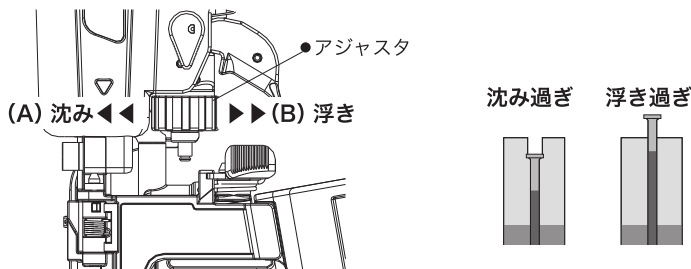
連発式

連発式は先にトリガを引いたまま安全ヨークを部材に押し付けるだけで発射しますので、スピードを要する作業に適しています。

- ①先にトリガを引きます。
- ②そのまま安全ヨークを部材に押し当てると釘が発射されます。
- ③トリガを引いたまま機体を持ち上げ、②からの手順を繰り返し、連続して釘を打ちます。

打ち込み深さ調整

打ち込み深さの調整は安全ヨークのアジャスタで行います。
アジャスタを時計回り方向 (A) に回すと打ち込みが深くなります。
アジャスタを反時計回り方向 (B) に回すと打ち込みが浅くなります。



△注意 打ち込み深さは使用空気圧によっても調整できますので、アジャスタによる調整と併用してください。釘の打ち込み抵抗に合わない高い圧力で使用すると機体の寿命を縮めます。

先端ヨークの交換

△警告 先端ヨークを脱着する際は、必ずエアホースを外してください。

取り外しは先端ヨークを回しながら引っ張ってください。
取り付けは安全ヨークの凸部と先端ヨークの凹部を合わせて押し込んでください。

使用済みシートの切り取り方

△警告 シートを切り取る際は安全ヨークや射出口・トリガに触れないよう注意してください。

使用済のシートがノーズの上部から出てきますので、必要に応じて切り取ってください。
切り取る際はシートの出口に近い所でシートを握り、横方向へ振じ切るようにしてください。
シートを引き抜く方向へは引っ張らないでください。

排気の方法

この機体は排気方向を360°任意で変えることができます。
排気が身体に当たらないように排気方向を調整してください。

使用後の保守・点検

警告

○プラグキャップの取り付け

エアホースを取り外した際は、エアプラグの根元に取り付けられているプラグキャップをエアプラグに嵌め込み、ゴミや埃、雨水等がポケット釘打機の内部に入らないようにしてください。

○使用後の給油

使用後はエアホースを外し、残った釘を抜き取ってください。

付属の油サシにてエアプラグ内にタービン油を2～3滴（0.1cc）給油し、ケースに入れて常温の乾燥した場所に保管してください。

○エアコンプレッサ内のドレンの除去

作業終了後はエアコンプレッサの電源を切り、空気タンクのドレン抜きを緩め、タンク内の残圧にて内部に溜まった水や油を抜いてください。

特に湿度の高い時期は想像以上に水が溜まりますので、作業後の水抜きは毎日行ってください。

○残った釘の保管

残った釘は箱に納め、安全で常温の乾燥した場所に保管してください。

釘の箱の上には他の品物を載せないでください。

お客様メモ

■本機お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (No.) を
下欄にメモしておかれますと、修理等を依頼されるときに便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (No.)
販売店名	TEL ()			-

■お買い上げの商品のご相談は、下記の最寄り営業所までお気軽にお問い合わせ
ください。

- 福島営業所 〒963-0204
福島県郡山市土瓜1丁目71-2 コスモビル1階
TEL 024-961-9871(代) FAX 024-961-3900
- 茨城営業所 〒310-0905
茨城県水戸市石川1丁目3786-1
TEL 029-252-1345(代) FAX 029-252-0281
- 名古屋営業所 〒464-0850
愛知県名古屋市千種区今池4丁目4-9 Park-front今池2階
TEL 052-735-0690(代) FAX 052-745-1360



トータル・ファスニング株式会社

<http://www.total-f.co.jp>

営業本部 〒963-0204 福島県郡山市土瓜1丁目71-2 コスモビル1階
TEL 024-961-9610(代) FAX 024-961-3900